



～ 美ら島の未来を拓く～
内閣府沖縄総合事務局

「沖縄県成果連動型事業推進プラットフォーム(第2回)」を開催しました！

内閣府沖縄総合事務局財務部・経済産業部では、地方公共団体の財政コストを抑えながら、民間のノウハウ等を活用し、社会的課題の解決や行政の効率化等を実現する仕組みであるSIB(ソーシャル・インパクト・ボンド)を含む成果連動型事業の普及を目的に、県内市町村をメンバーとする「沖縄県成果連動型事業推進プラットフォーム」による取り組みを進めております。

今回、成果連動型事業等の導入を支援しているケイスリー(株)から「成果連動型事業に関するトピックスと新たな導入モデルの紹介」のほか、プラットフォームメンバーによる「成果連動型事業導入に向けた検討状況と課題」等について意見交換を行いました。

引き続き、プラットフォームメンバーである地方公共団体の成果連動型事業推進のための取り組みを進めていくこととしております。

今後の取り組み方針

今年度県内で成果連動型民間委託の組成を目指す。

県内の行政による関連動向を集約し、ノウハウの共有、広域モデルの展開へと繋げることを目指す。

沖縄県成果連動型事業推進プラットフォーム(第2回)の概要

日 時:令和元年5月27日(月) 15:00～17:00

場 所:那覇第2地方合同庁舎2号館5階 海技試験室

参加メンバー:那覇市、宜野湾市、浦添市、名護市、沖縄市、豊見城市、うるま市、中城村、西原町、八重瀬町、与那原町 34名

次 第:

1. 開 会 (沖縄総合事務局財務部理財課長 新垣嘉樹)
2. 講 演 「成果連動型事業に関するトピックスと新たな導入モデルの紹介」([資料へリンク](#))
(ケイスリー株式会社 代表取締役 幸地正樹)
3. 意見交換
成果連動型事業導入に向けた検討状況と課題
プラットフォームの効果的な運営方法
その他

【写真】



【11自治体 34名が参加】



【講師のケイスリー(株)幸地代表】



【質疑応答の様子】



【質疑応答の様子】



【質疑応答の様子】



【質疑応答の様子】

(以上)